

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
輪ぎく専業	人            3	秋ぎく11・3月出荷型(2度切り)	a
		秋ぎく12・4月出荷型(2度切り)	10
		秋ぎく1・5月出荷型(2度切り)	10
		秋ぎく2月出荷型	10
		秋ぎく3月出荷型	10
		秋ぎく10月出荷型	10
		秋ぎく11月出荷型	10
		秋ぎく12月出荷型(短茎多収)	10
		夏秋ぎく6月出荷型	10
		夏秋ぎく7月出荷型	10
		夏秋ぎく8月出荷型	10
		夏秋ぎく8月出荷型(短茎多収)	10
		秋ぎく9月出荷型(シェード)	10
計	130		
経営耕地面積		水田 60 a	
		畑	
経営目標	1 農業総収入	50,050 千円	4 1日当たり農業所得 8,998 円
	2 農業経営費	43,784 千円	5 1人当たり年間労働時間 1,959 時間
	3 農業所得	6,266 千円	

2. 資本装備と減価償却費

種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	1	鉄骨・100㎡	1	千円 9,451	24	千円 394
	3	低コスト耐候性ハウス・1000㎡	1	79,819	14	2,851
	3	連棟補強型(SRH)ハウス	1	51,302	14	1,832
	1	育苗用・500㎡	1	4,734	10	237
	3	防油堤	1	1,614	25	65
	3	オイルタンク	1	1,536	7	110
	計				148,456	
農機具	1	21ps	1	1,710	7	122
	1	歩行型(管理機付)	1	86	7	6
	1	6.3ps	1	206	7	15
	1	3.1ps	1	161	7	12
	1	660cc	1	1,340	4	168
	1	660cc	1	902	4	113
	6	100,000kcal	1	10,123	7	723
	1	3坪	1	1,282	7	92
	1	下葉取り、重量選別、自動結束	1	6,308	7	451
	6	コンピュータ制御・電磁弁・日射比例	1	17,328	7	1,238
	6	1式	1	9,120	7	651
	12	10aに2台設置	1	20,794	7	1,485
	36	10aに6台(3連棟×42.5m)	1	1,240	7	89
	6	1式	1	866	4	108
	6	1式	1	9,056	7	647
6	1施設に1台	1	8,026	7	573	
6	1施設に1台	1	2,508	7	179	
6	1施設に1台	1	2,508	7	179	
計				93,565		6,850

## 3-1. 技術体系

(秋ギク11月・3月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		7月		2	10	20		・53,000本採穂
穂冷蔵		7月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	7月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
定植	直挿し	8月		4	16	64	穂 48,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		8月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		8月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		8月～9月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
灌水	頭上、地上灌水	8月～11月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		9月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		10月		1	2	2		
ピーナイン散布		10月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		10月～11月		4	60	240		
追肥		11月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		11月	自動選花結束機 軽トラック	4	42	168		
病害虫防除		8月～11月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		県病害虫防除基準による。

炭酸ガス施用		10月～2月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。</li> <li>・外気濃度400ppmを下回らないように施用。</li> <li>・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。</li> </ul>
				1	15	15		
電照管理		11月～1月	電照装置	1	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜4時間の電照</li> <li>・電照は前作の収穫後半から開始する。</li> <li>・消灯時の草丈の目安は60cm程度とする。</li> </ul>
温度管理		11月～3月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,984ℓ 電気 19,711kw	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二度切り開始後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。</li> <li>・昼温は25℃を目安に換気する。</li> </ul>
整枝		12月		4	24	96		<ul style="list-style-type: none"> <li>・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)</li> </ul>
追肥		12月		1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。</li> <li>・窒素、磷酸、加里 各6kg×2</li> </ul>
		1月		1	1	1		
灌水	頭上灌水、点滴灌水	12月～3月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		2月		4	70	280		
ピーナイン散布		2月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。</li> </ul>
収穫、出荷		3月	自動選花 結束機 軽トラック	4	45	180		
病害虫防除		12月～3月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県病害虫防除基準による。</li> </ul>
後かたづけ		3月	軽トラック	2	16	32		
計						1,251		

## 3-2. 技術体系

(秋ギク12月・4月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		8月		2	10	20		・53,000本採穂
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
定植	直挿し	9月		4	16	64	穂 48,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		9月～11月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		9月～12月	暖房機 ヒートポンプ	1	20	20	重油 350ℓ 電気 5,882kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月～12月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		10月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		11月		1	2	2		
ピーナイン散布		11月、12月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		11月		4	60	240		
追肥		11月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用

収穫、出荷		12月	自動選花 結束機 軽トラック	4	44	176		
病虫害防除		9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		県病虫害防除基準による。
炭酸ガス施用		10月～3月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	18	18		
電照管理		12月～2月	電照装置	1	2	2		・深夜4時間の電照 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は60cm程度とする。
温度管理		1月～4月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,810ℓ 電気 16,430kw	・二度切り開始後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
整枝		1月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		1月		1	1	1	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里 各6kg×2
		2月		1	1	1		
灌水	頭上灌水、点滴灌水	12月～4月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		3月		4	60	240		
ピーナイン散布		3月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		4月	自動選花 結束機 軽トラック	4	42	168		
病虫害防除		1月～4月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
後かたづけ		4月	軽トラック	2	16	32		
計						1,230		

## 3-3. 技術体系

(秋ギク1月・5月出荷型 二度切り栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		9月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		9月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	9月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
定植	直挿し	10月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		10月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		10月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		10月～12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		10月～1月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,128ℓ 電気 12,283kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	10月～1月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		11月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		12月		1	2	2		
ピーナイン散布		12月、1月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		12月		4	60	240		
追肥		12月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		1月	自動選花結束機 軽トラック	4	42	168		

病害虫防除		10月～1月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
炭酸ガス施用		10月～4月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	21	21		
電照管理		1月～3月	電照装置	1	2	2		・電球 深夜4時間 ・電照は前作の収穫後半から開始する。 ・消灯時の草丈の目安は60cm程度とする。
短日処理	シェード	3月～5月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
温度管理		2月～5月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 989ℓ 電気 11,290kw	・二度切り開始後、最低温度を消灯前まで14℃、消灯～発蕾までを16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
整枝		2月		4	24	96		・茎長が15～20cmで整枝。(古株を整理)
追肥		2月		1	1	1	肥料	・整枝後と消灯2週間後に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里 各6kg×2
		3月		1	1	1		
灌水	頭上灌水、点滴灌水	1月～5月		1	8	8		
摘芽、摘蕾		4月		4	60	240		
ピーナイン散布		4月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
収穫、出荷		5月	自動選花 結束機 軽トラック	4	39	156		
病害虫防除		2月～5月	自走式防除機、動力噴霧器	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		5月	軽トラック	2	16	32		
計						1,215		

## 3-4. 技術体系

(秋ギク2月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		10月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		10月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
ビニール被覆		10月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
内張カーテン		12月		4	5	20	ポリフィルム 1000㎡	
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	11月	土壌消毒機 トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、燐酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		11月		2	2	4		
定植	直挿し	11月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		11月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		11月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		11月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月～1月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置 設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	12	12		
電照管理		11月～12月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		11月～2月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,333ℓ 電気 15,862kw	・消灯前を14℃、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・室温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	11月～2月	灌水同時施肥システム	1	8	8		



追肥	12月		1	2	2	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。</li> <li>・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用</li> </ul>
	1月		1	2	2		
ピーナイン散布	1、2月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。</li> </ul>
摘芽、摘蕾	1月		4	60	240		
追肥	1月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用</li> </ul>
収穫、出荷	2月	自動選花結束機 軽トラック	4	39	156		
病虫害防除	11月～2月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県病虫害防除基準による。</li> </ul>
後かたづけ	2月	軽トラック	2	16	32		
計					695		

3-5. 技術体系

(秋ギク3月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		10月		2	10	20		・53,000本採穂
穂冷蔵		10月	冷蔵庫	1	3	3		・2~3℃で冷蔵
ビニール被覆		10月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
内張カーテン		12月		4	5	20	ポリフィルム 1000㎡	
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	11月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		11月		2	2	4		
定植	直挿し	11月		4	16	64	穂 48,000本	・中1日あけて6条植え、1日に1本植え
べたがけ設置		11月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		12月		2	2	4		・活着後(7~14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		12月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		12月~3月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	11	11		
電照管理		11月~1月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12~13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		11月~3月	暖房機 ヒートポンプ	1	24	24	重油 1,259ℓ 電気 17,765kw	・消灯前を14℃、消灯後20~25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	12月~3月	灌水同時施肥システム	1	8	8		

追肥	1月		1	2	2	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。</li> <li>・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用</li> </ul>
	2月		1	2	2		
ピーナイン 散布	2、3月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。</li> </ul>
摘芽、摘蕾	2月		4	70	280		
追肥	2月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用</li> </ul>
収穫、出荷	3月	自動選花結束機 軽トラック	4	45	180		
病虫害防除	12月～3月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県病虫害防除基準による。</li> </ul>
後かたづけ	4月	軽トラック	2	16	32		
計					762		

## 3-6. 技術体系

(秋ギク10月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		6月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		6月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	6月	管理機 トラクター	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		7月		2	2	4		
定植	直挿し	7月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		7月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		7月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		7月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		7月～8月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球形LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
短日処理	シェード	8月～10月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	7月～10月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		8月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		9月		1	2	2		
ピーナイン散布		9月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		9月		4	60	240		
追肥		9月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各3kg施用
収穫、出荷		10月	自動選花結束機 軽トラック	4	35	140		
病害虫防除		7月～10月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		10月	軽トラック	2	16	32		
計						601		

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		7月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		7月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	7月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		8月		2	2	4		
定植	直挿し	8月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		8月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		8月		2	2	4		・活着後(7～10日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		8月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	3	3		
電照管理		8月～9月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
灌水	頭上、地上灌水	8月～11月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		9月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用
		10月		1	2	2		
ピーナイン散布		10月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		10月		4	60	240		
追肥		10月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用
収穫、出荷		11月	自動選花結束機 軽トラック	4	39	156		
病害虫防除		8月～11月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		11月	軽トラック	2	16	32		
計						622		

## 3-8. 技術体系

(秋ギク12月出荷型 短茎多収栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		8月		2	14	28		・60,000本採穂
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
ビニール被覆		8月		4	6	24	ビニール 1000㎡	・5年間使用
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	管理機 トラクター	4	13	52	フラワーネット 900m 支柱840本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		9月		2	2	4		
定植	直挿し	9月		4	24	96	穂 56,000本	・7条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		9月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
炭酸ガス施用		10月～12月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	7	7		
電照管理		9月～10月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後50日目を目安とし、消灯後12～13日目から3日程度の再電照を行う。
温度管理		10月～12月	暖房機	1	24	24	重油 194ℓ 電気 5,785kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月～12月	灌水同時施肥システム	1	8	8		

追肥	10月		1	2	2	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。</li> <li>・窒素、リン酸、加里各6kg×2回施用</li> </ul>
	11月		1	2	2		
ピーナイン散布	11月、12月	動力噴霧機	1	6	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。</li> </ul>
摘芽、摘蕾	11月		4	75	300		
追肥	12月	灌水同時施肥システム	1	1	1	肥料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液肥で窒素、リン酸、加里各6kg施用</li> </ul>
収穫、出荷	12月	自動選花結束機 軽トラック	4	49	196		
病害虫防除	9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県病害虫防除基準による。</li> </ul>
後かたづけ	12月	軽トラック	2	16	32		
計					819		

## 3-9. 技術体系

(夏秋ギク6月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		1月、2月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		1月、2月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	2月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、燐酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
定植	直挿し	2月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		2月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		2月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		2月～4月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は4月上旬 ・消灯後11～13日後頃に3～5日程度再電照を行う。
温度管理		2月～6月		1	16	16	重油 19ℓ 電気 1,817kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
短日処理	シェード	4月～6月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	2月～6月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		3月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里各3kg×2回施用
		4月		1	2	2		
ピーナイン散布		4、5月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		4、5月		4	45	180		
収穫、出荷		6月	自動選花結束機 軽トラック	4	39	156		
病害虫防除		2月～6月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		6月	軽トラック	2	16	32		
計						561		



## 3-10. 技術体系

(夏秋ギク7月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		2月、3月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		2月、3月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	3月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、燐酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		3月		2	2	4		
定植	直挿し	3月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		3月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		3月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		3月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		3月～5月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は5月上～中旬。 ・消灯後11～13日後頃に3～5日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		3月～5月		1	5	5		
短日処理	シェード	5月～7月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	3月～7月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		4月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里各3kg×2回施用
		5月		1	2	2		
ピーナイン散布		6月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		6月		4	45	180		
収穫、出荷		7月	自動選花結束機 軽トラック	4	39	156		
病害虫防除		3月～7月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		7月	軽トラック	2	16	32		
計						558		

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		3月、4月		2	8	16		・50,000本採穂
穂冷蔵		3月、4月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	4月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		4月		2	2	4		
定植	直挿し	4月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		4月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		4月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		5月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		4月～6月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は6月上～中旬。 ・消灯後13～15日目から3日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		4月～5月		1	2	2		
短日処理	シェード	6月～8月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	4月～8月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		5月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各3kg×2回施用
		6月		1	2	2		
ピーナイン散布		7月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		7月		4	25	100		
収穫、出荷		8月	自動選花 結束機 軽トラック	4	35	140		
病害虫防除		4月～8月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		8月	軽トラック	2	16	32		
計						459		

## 3-12. 技術体系

(夏秋ギク8月出荷型 短茎多収栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
採穂		3月、4月		2	14	28		・60,000本採穂
穂冷蔵		3月、4月	冷蔵庫	1	4	4		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	4月	土壌消毒機 トラクター 管理機	4	13	52	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 900m 支柱840本	・窒素、燐酸、加里各15kg ・フラワーネット10cmの7目
寒冷紗被覆		4月		2	2	4		
定植	直挿し	4月		4	24	96	穂 56,000本	・7条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		4月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		5月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		5月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		4月～6月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4～5時間の電照 ・消灯は6月上～中旬。 ・消灯後13～15日目から3日程度再電照を行う。
温度管理(換気)		4月～5月		1	2	2		
短日処理	シェード	6月～8月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	4月～8月	灌水同時施肥システム	1	8	8		
追肥		5月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、燐酸、加里各3kg×2回施用
		6月		1	2	2		
ビーサイン散布		7月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		7月		4	30	120		
収穫、出荷		8月	自動選花結束機 軽トラック	4	43	172		
病害虫防除		4月～8月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		8月	軽トラック	2	16	32		
計						559		

3-13. 技術体系 (夏秋ギク9月出荷型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植準備	耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	5月	トラクター 管理機	4	12	48	フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、リン酸、加里 各15kg ・フラワーネット 10cmの7目
寒冷紗被覆		5月		2	2	4		
定植	直挿し	5月		4	16	64	穂 45,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		5月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		6月		2	2	4		・活着後(7~14日)、べたがけを除去する。
寒冷紗除去		6月		2	2	4		・ポリ除去後、数日おいて取り除く。
電照管理		5月~7月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4~5時間の電照 ・消灯は7月中~下旬。 ・消灯後13日目から3日程度再電照を行う。
温度管理 (夜間冷房)		7月~9月	ヒートポンプ 自動カーテン	1	3	3	電気 5,373kw	・消灯~発蕾まで、18時~7時まで夜温23℃で管理する。
短日処理	シェード	7月~9月	シェード装置	1	2	2		・消灯後、短日処理を11時間日長で管理する。 ・シェードは夜間解放する。
灌水	頭上、地上灌水	5月~9月	灌水同時 施肥システム	1	8	8		
追肥		6月		1	2	2	肥料	・消灯2週間前と2週間後に2回に分けて施用する。 ・窒素、リン酸、加里各3kg×2回施用
		7月		1	2	2		
ピーナイン散布		8月	動力噴霧機	1	6	6		・発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		8月		4	25	100		
収穫、出荷		9月	自動選花 結束機 軽トラック	4	35	140		
病害虫防除		5月~9月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
後かたづけ		9月	軽トラック	2	16	32		
計						440		

## 3-14. 技術体系

(秋ギク親株)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(元株)台刈り		2月	刈払機	1	2	2		・秋ギクの元株は、12月出荷の切り下株を利用
ビニール被覆(育苗、親株)		3月		3	4	12	・ビニール 500㎡	
(親株)挿し芽床作り		4月、7月		2	4	8	パ <sup>ラ</sup> イト 800L ピ <sup>ト</sup> モス 400L 育苗箱(50×35×8cm) 300箱	
採穂挿し芽		4月、7月		2	19	38	挿し穂 25,000本	・育苗箱に100本/箱挿し芽
親株定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用	5月、7月	土壌消毒機 管理機 トラクター	3	16	48	500㎡あたり 堆肥1000kg 苦土石灰50kg	・親株床 500㎡ ビニールハウス ・窒素、リン酸、加里各5kg
親株定植		5月、7月		3	27	81		・15×15cm、4条植え ・畦幅60cm、通路50cm
摘心		5月、7月		2	13	26		
電照管理		4月～10月	電照装置	1	2	2	LED	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照
ビーエー剤散布		5月～8月	動力噴霧機	1	15	15	ビーエー剤	
病害虫防除		5月～10月	動力噴霧機	1	15	15		・県病害虫防除基準による。
計						247		

3-15. 技術体系 (夏秋ギク親株)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
夏ギク親株床準備	耕うん 整地 基肥施用	10月	管理機 トラクター	2	12	24		・親株床 500㎡ ビニールハウス ・窒素、リン酸、加里 各5kg
親株移植		10月		2	8	16	9月出荷分の切り下株	・15×15cm、4条植え ・畦幅60cm、通路50cm
親株管理	灌水、除草	10月～4月		1	6	6		
台刈り土寄せ		11月	刈払機 管理機	1	4	4		
電照管理		2月～5月	電照装置	1	2	2	LED	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照
病害虫防除		10月～4月	動力噴霧機	1	8	8		・県病害虫防除基準による。
計						60		

4. 品目の作付体系 (△直挿し、□出荷)

品目(作型)	施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋ギク1月・5月出荷(二度切り栽培)	低コスト耐候性ハウス	□				□					△		
秋ギク9月出荷						△				□			
秋ギク12月・4月出荷(二度切り栽培)	低コスト耐候性ハウス				□					△			□
夏秋ギク8月出荷					△				□				
秋ギク11月・3月出荷(二度切り栽培)	低コスト耐候性ハウス			□					△			□	
夏秋ギク7月出荷				△					□				
秋ギク10月出荷	連棟補強ハウス							△				□	
秋ギク2月出荷			□									△	
夏秋ギク6月出荷				△					□				
秋ギク11月出荷	連棟補強ハウス								△			□	
秋ギク3月出荷				□									△
夏秋ギク8月出荷(短莖多収栽培)	連棟補強ハウス					△			□				
秋ギク12月出荷(短莖多収栽培)										△			□





3) 秋ギク1月・5月出荷型 二度切り栽培

品目・作業ノ月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	下	下	
採穂																									16
種冷蔵																									16
定植準備																									3
定植																									48
べたがけ設置																									64
べたがけ除去																									4
電照管理																									4
温度管理	2	2																							2
灌水	1	1																							24
追肥																									8
追肥																									2
追肥																									2
ピーナイン散布	3																								6
摘芽・摘書																									240
追肥																									1
収穫・出荷	84	84																							188
病害虫防除	2	1																							15
炭酸ガス施用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	25
電照管理																									2
短日処理	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	2														2
温度管理																									24
整枝																									96
追肥																									2
灌水	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8
摘芽・摘書																									240
ピーナイン散布																									6
収穫・出荷																									156
病害虫防除																									15
後かたづけ																									32
計	12	92	89	38	37	36	61	5	6	89	84	86	82	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
月計	193																								1,215

4) 秋ギク2月出荷型

品目・作業ノ月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	上	中	下	下	
採穂																									16
種冷蔵																									16
ピーナイン散布																									3
内張カーテン																									24
定植準備																									20
寒冷紗被覆																									48
定植																									4
べたがけ設置																									64
べたがけ除去																									4
寒冷紗除去																									4
炭酸ガス施用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
電照管理																									2
温度管理	2	2	2	2	2	2																			24
灌水	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8
追肥																									2
追肥																									2
ピーナイン散布	2																								6
摘芽・摘書	80	80	80																						240
追肥																									1
収穫・出荷	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	156
病害虫防除																									15
後かたづけ																									32
計	86	91	84	8	82	80	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	695
月計	261																								1,215

5)秋ギク3月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
採種																										
穂冷蔵																										16
ビニール被覆																										3
内張カーテン																										24
定植準備																										20
寒冷紗被覆																										48
定植																										4
べたがけ設置																										4
べたがけ除去																										4
寒冷紗除去																										4
炭酸ガス施用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
電照管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
温度管理	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8
灌水	2																									2
追肥																										2
追肥																										2
ピーナイン散布																										6
摘芽・摘蕾																										280
追肥																										1
収穫・出荷																										180
病虫害防除	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
後かたづけ	5	9	4	95	102	104	8	95	90	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
計	18			95	102	104	8	95	90	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	758
月計				301			32																			135

6)秋ギク10月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
採種																										
穂冷蔵																										16
定植準備																										3
寒冷紗被覆																										52
定植																										4
べたがけ設置																										4
べたがけ除去																										4
寒冷紗除去																										4
電照管理																										2
短日処理																										2
灌水																										8
追肥																										2
追肥																										2
ピーナイン散布																										6
摘芽・摘蕾																										240
追肥																										1
収穫・出荷																										140
病虫害防除																										15
後かたづけ																										32
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	601
月計																										178

7) 秋ギク11月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計								
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下									
採穂																									16								
穂冷蔵														6	5	5										3							
定植準備														1	1	1										52							
寒冷紗被覆														16	36											4							
定植																										64							
べたがけ設置																										4							
べたがけ除去																										4							
寒冷紗除去																										4							
炭酸ガス施用																										4							
電照管理																										2							
灌水																										2							
追肥																										2							
追肥																										2							
ピーナイン散布																										6							
摘芽・摘蕾																										240							
追肥																										1							
収穫・出荷																										156							
病害虫防除																										15							
後かたづけ																										32							
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6	42	76	6	5	3	4	2	90	87	85	81	80	32	0	0	0	0	622
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71	87	9	282	193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	262

8) 秋ギク12月出荷型/短茎多収

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計									
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下										
採穂																										28								
穂冷蔵																										4								
ピーナイン散布																										24								
定植準備																										52								
寒冷紗被覆																										4								
定植																										96								
べたがけ設置																										4								
べたがけ除去																										4								
寒冷紗除去																										4								
炭酸ガス施用																										4								
電照管理																										11								
温度管理																										24								
灌水																										8								
追肥																										2								
追肥																										2								
ピーナイン散布																										6								
摘芽・摘蕾																										300								
追肥																										1								
収穫・出荷																										196								
病害虫防除																										15								
後かたづけ																										32								
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	10	42	4	104	11	9	8	7	106	111	105	110	104	32	0	0	819
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	119	24	322	246	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	246		

9) 夏秋ギク6月出荷型

品目・作業/月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
採種		2	8	6																																					16
種冷蔵		1	2	1																																					4
定植準備			24	24																																					48
定植				64																																		64			
べたがけ設置				4																																		4			
べたがけ除去																																						4			
電照管理				1																																		2			
温度管理				1	2	1	1	4	3	3																												16			
短日処理				1																																		2			
灌水				1	1	1	1	1	1	1																												8			
追肥				2																																		2			
追肥																																						2			
ピーナイン散布																																						6			
摘芽・摘蕾																																						180			
収穫・出荷																																						156			
病害虫防除				1																																		15			
後かたづけ				3	34	103	6	3	5	2	7	47	49	33	45	31	81	80	32																	32					
月計	0	0	3	34	103	6	3	5	2	7	47	49	33	45	31	81	80	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	561				

10) 夏秋ギク7月出荷型

品目・作業/月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
採種			4	8	4																																					16
種冷蔵			1	2	1																																					4
定植準備				24	24																																					48
寒冷紗被覆					64																																		64			
定植					4																																		4			
べたがけ設置					4																																		4			
べたがけ除去					4																																		4			
寒冷紗除去					4																																		4			
電照管理				1	1	1	1	1	1																															2		
温度管理(換気)				1	1	1	1	1	1																															5		
短日処理				1	1	1	1	1	1																															8		
灌水				1	1	1	1	1	1																															2		
追肥					2																																		2			
追肥																																							2			
ピーナイン散布																																							6			
摘芽・摘蕾																																							180			
収穫・出荷																																							156			
病害虫防除				1	1	1	1	1	1																															15		
後かたづけ				3	34	105	9	3	5	1	4	4	3	66	62	64	81	80	32																	32						
月計	0	0	0	34	105	9	3	5	1	4	4	3	66	62	64	81	80	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	556					

11) 夏秋ギク8月出荷型

品目・作業/月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
採種				4			4																												16		
種冷蔵				1			2																												4		
定植準備							24																												48		
寒冷紗被覆							4																												4		
定植							64																												64		
べたがけ設置							4																												4		
べたがけ除去												4																							4		
寒冷紗除去												1																							4		
電照管理												1																							2		
温度管理(換気)												1																							2		
短日処理												1																							2		
灌水												1																							8		
追肥												2																							2		
追肥																																			2		
ピーナイン散布																																			6		
摘芽・摘蕾																																			100		
摘蕾・出荷																																			140		
病害虫防除																																			15		
後かたづけ																																			32		
計	0	0	0	0	0	0	5	34	105	4	6	5	1	3	4	10	3	42	38	32	73	72	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	459			
月計	0	0	0	0	0	0	5	34	105	4	6	5	1	3	4	10	3	42	38	32	73	72	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	459			

12) 夏秋ギク8月出荷型短茎多収

品目・作業/月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
採種							10	10	8																										28		
種冷蔵							1	2	1																										4		
定植準備												26	26																						52		
寒冷紗被覆																																			4		
定植																																			96		
べたがけ設置																																			4		
べたがけ除去																																			4		
寒冷紗除去																																			4		
電照管理																																			2		
温度管理(換気)																																			2		
短日処理																																			8		
灌水																																			2		
追肥																																			2		
追肥																																			6		
ピーナイン散布																																			120		
摘芽・摘蕾																																			172		
摘蕾・出荷																																			15		
病害虫防除																																				32	
後かたづけ																																					
計	0	0	0	0	0	0	11	12	35	134	6	8	2	3	4	10	3	46	42	44	89	88	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	559			
月計	0	0	0	0	0	0	11	12	35	134	6	8	2	3	4	10	3	46	42	44	89	88	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	559			

13) 秋ギク9月出荷型

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
定植準備					24	24																			48
寒冷紗被覆						4																			4
定植						64																			64
べたがけ設置						4																			4
べたがけ除去						4																			4
寒冷紗除去						4																			4
電照管理					1																				2
温度管理(夜間冷房)					1																				2
短日処理					1																				2
灌水					1																				2
追肥					2																				2
追肥																									2
ピーナツ散布																									6
摘芽・摘書																									100
収穫・出荷																									140
病害虫防除					1																				15
後かたづけ																									32
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	24	75	6	8	2	2	5	3	43	33	33	73	72	32	440
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	123	16	0	0	0	10	114	0	0	177	0	0	0	0	0	0	440

14) 秋ギク親株

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
(元株)台刈り						2																			2
ビニール被覆 (育苗・親株)																									12
(親株)挿し芽床作り							4																		4
採種・挿し芽							19																		19
親株定植準備										12	12														24
親株定植										40	40														80
摘心										13	13														26
電照管理										1	1														2
ビニール撤去										3	3														6
病害虫防除										2	2														4
計	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12	53	18	0	5	0	40	53	18	0	1	0	0	0	155
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	83	5	0	5	111	0	5	2	4	0	0	0	0	0	0	0	247

15) 夏秋ギク親株

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
夏秋ギク親株準備																									24
親株移植																									16
親株管理																									6
台刈り上寄せ																									4
電照管理																									2
病害虫防除																									8
計	0	0	2	0	1	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	18	0	0	60
月計	0	0	2	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	6	0	0	1	60

6. 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計												
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下													
うち家族労働	106	170	166	138	234	166	171	228	144	150	202	196	120	173	111	145	137	123	224	169	135	210	113	103	143	169	95	240	152	174	195	179	234	190	103	5878	
うち雇用労働	38	62	62	141	190	182	96	162	110	117	165	131	47	49	51	37	32	23	110	68	81	224	124	86	118	112	84	181	135	130	262	226	181	164	148	68	4197